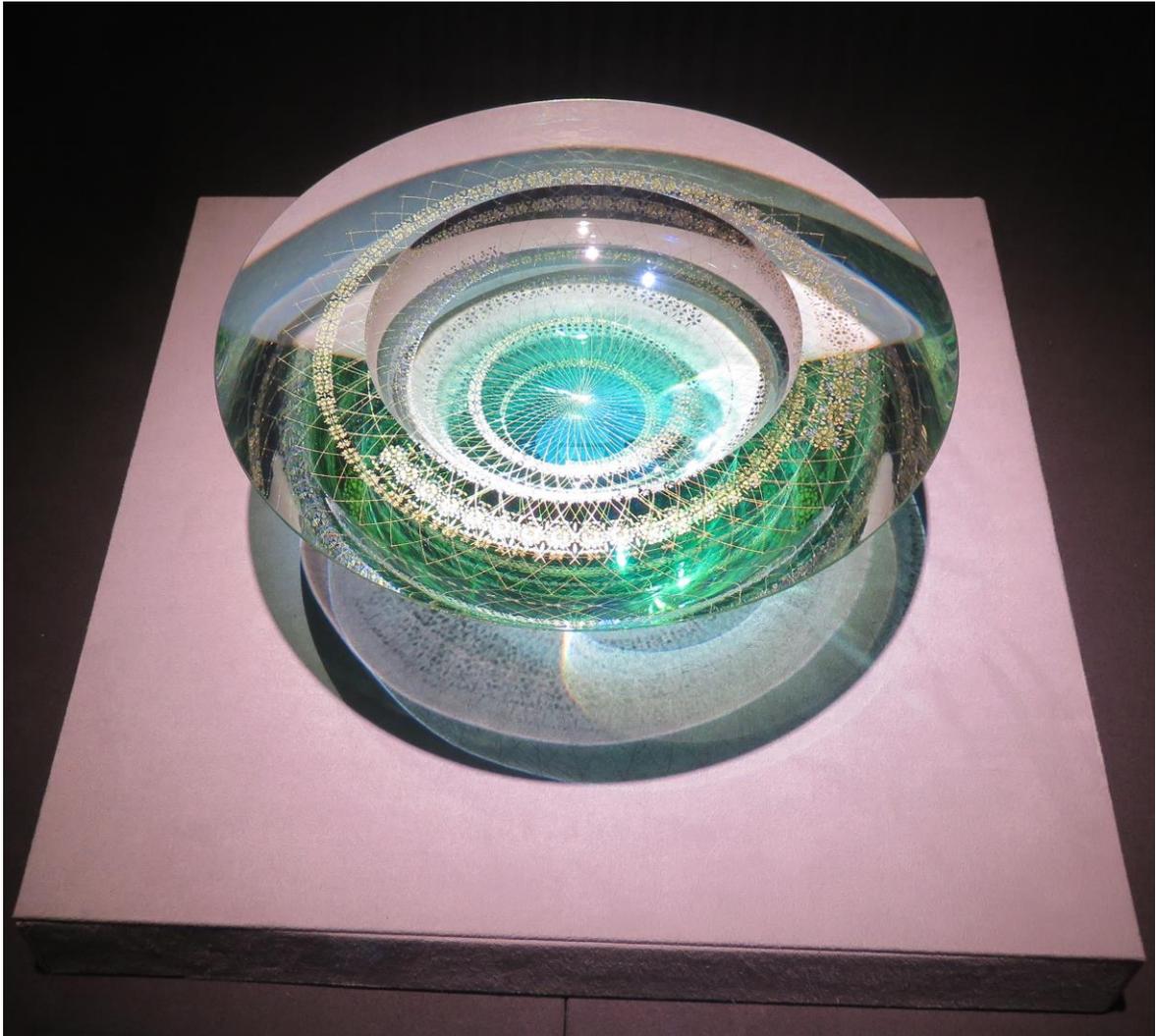


エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2021年12月1日から2022年11月30日まで



箱根ガラスの森美術館にて

発行日：2023年2月22日

東洋通信工業株式会社

〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1

TEL:052-505-9011 FAX:052-505-9010

URL <https://toyotsushin.co.jp>

目 次

1. 組織概要・対象範囲	2 頁
2. 実施体制	3、4 頁
3. 環境経営方針	5 頁
4. 環境経営計画と環境経営目標及び実績	6 頁
4.1 環境経営計画	
4.2 環境経営目標（3 期分）	7 頁
4.3.1 環境経営計画の実績	8 頁
4.3.2 環境経営目標の実績	9 頁
4.4 環境負荷の状況（過去 3 期分）	10 頁
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11 頁
6. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	12 頁
7. 環境経営計画における次年度からの取組	12 頁
8. 社会貢献活動	12 頁

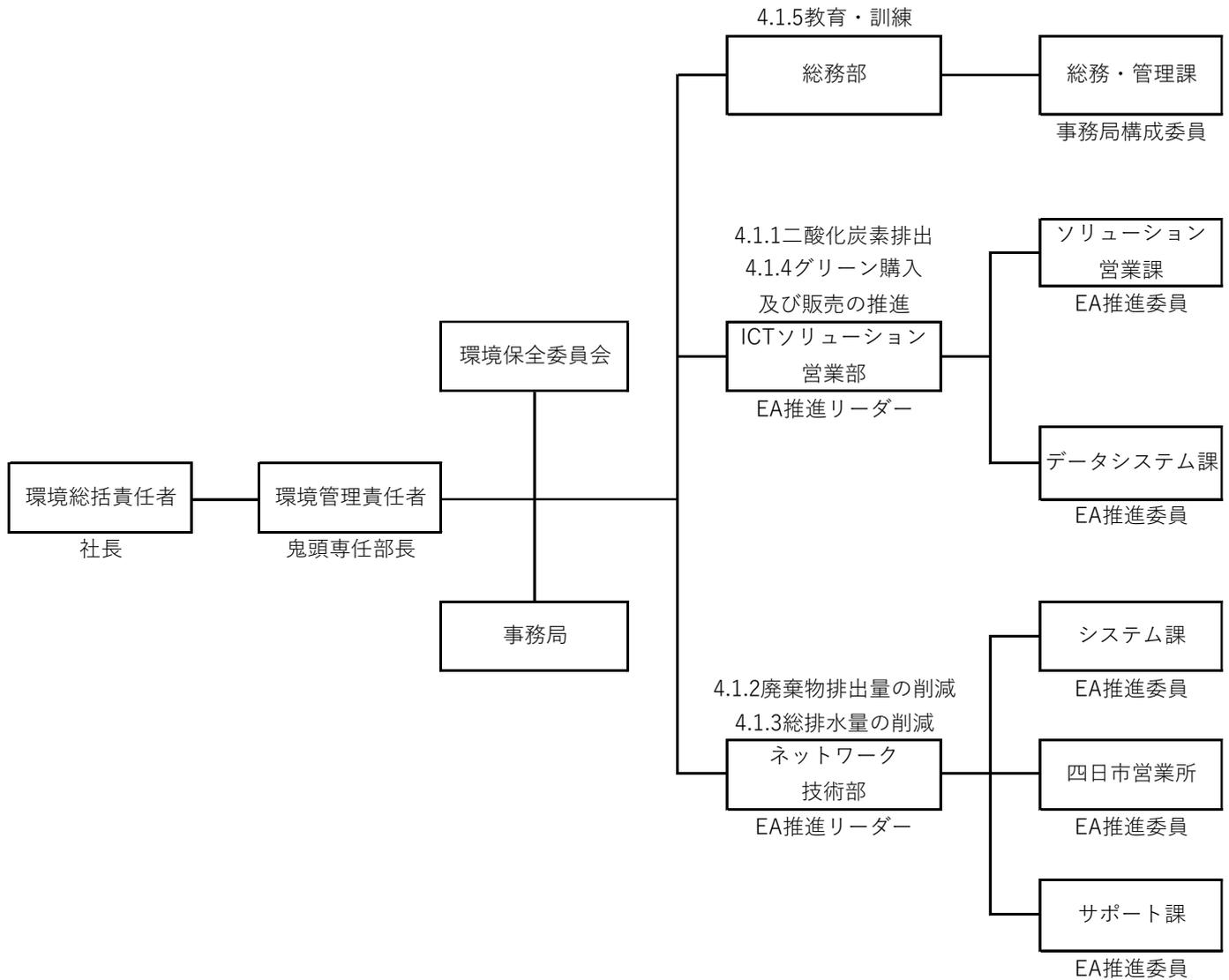
1. 組織概要・対象範囲

商号	東洋通信工業株式会社
設立	1956年（昭和31年）2月10日
資本金	18,165千円
事業年度	12月1日～11月30日
建設業 許可番号	国土交通大臣許可（一般）第324号
事業内容	情報通信のネットワークインフラの運用提案販売及び工事・保守
年商	6億9,400万円（2022年11月末）
代表者	代表取締役 馬場 隆一
本社	〒452-0803 名古屋市西区大野木二丁目18番1 TEL052-505-9011 FAX052-505-9010 URL https://toyotsushin.co.jp
四日市 営業所	〒510-0065 三重県四日市市中浜田町3番7号 TEL059-352-7703 FAX059-352-7702
総人員	45名（2022年11月末）
取引銀行	三十三銀行・名古屋銀行・商工中金・三井住友銀行・三菱UFJ銀行
対象範囲	全組織・全活動（本社 42名 四日市 3名）

2. 実施体制

組織の役割、責任及び権限

令和4年11月30日現在



1. 環境総括責任者（社長）

- ①環境マネジメントシステムの統括的な責任と権限を有する。
- ②環境マネジメントに必要な経済資源を用意する。
- ③環境管理責任者を任命する。

2. 環境管理責任者（鬼頭専任部長）

- ①環境マネジメントに関する構造及び運用責任及び権限を有する。
- ②環境総括責任者に環境マネジメントシステムの実績を報告する責任を有する。

3. 環境保全委員会

- ①環境総括責任者を委員長として、環境管理責任者、エコアクション推進リーダー、事務局で構成する。
- ②開催は年1回とし、委員長が必要と認めた場合は臨時に開催できる。
- ③活動計画、目標の達成状況、環境関連の法規則の遵守状況等を確認し、是正、評価を行う。
- ④中長期目標を設定する。

4. エコアクション(EA)推進リーダー

各部署の所属長をリーダーとし、各部署に割り当てられた 4.1.1 から 4.1.5 の環境活動項目の推進責任者とする。

5. エコアクション(EA)推進委員

各環境活動項目を推進する。

6. 事務局

事務局長を木村部長とし、下記の事項を行う。

- ①環境マネジメントシステムの構築及び維持を行う。
- ②環境保全委員会の議長と事務局を担当する。
- ③環境活動の進捗状況の確認を行う。
- ④活動の取り組み状況を社内外に公表するための取り纏めを行う。

3. 環境経営方針

環境基本理念

当社は、情報通信技術を核に、IPネットワークシステムの提案、工事、保守を通じて、お客様のニーズに応えるとともに、かけがえのない地球の環境を大切に、積極的に環境保全に配慮した活動を行います。

環境行動指針

1. 環境目的及び目標を定め、定期的に見直し、汚染の予防と汚染の改善及び当社の環境活動の仕組みの継続的改善に努めます。
2. SDGs（エスディージーズ）の持続可能な開発目標にある活動を推進します。
3. 環境関連法令・条例・当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 地球温暖化防止・省エネルギー活動の推進に努めます。
5. 分別回収によるリサイクル活動を推進し、廃棄物の削減に努めます。
6. 地域社会貢献に努めます。
7. 環境方針は文書化し当社社員及び会社に関係する全ての人々に周知します。

制定月日 2006年11月08日
2版改訂月日 2009年12月01日
3版改定月日 2014年02月01日
4版改定月日 2019年12月01日

東洋通信工業株式会社
代表取締役 馬場 隆一

4. 環境経営計画と環境経営目標の実績及び評価

4.1 環境経営計画

項 目	具体的取組内容	
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定
		退社時のPCシャットダウン
		給湯器は、5月～10月OFF、11月～4月は60℃設定
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃
		常時稼動エアコンのフィルタは3ヶ月に1度 3月・6月・9月・12月清掃
		換気扇の適宜のON・OFF
		ブラインドやカーテンでの熱の調整
	2) ガソリン 使用量	クールビズ・ウォームビズの実施
		エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない (5秒で時速20kmに達するのが目安)
		急発進・急加速・空ぶかしの排除
		カーエアコンのこまめな調整
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安
		休憩時等にエンジンをかけての休息をしない
4.1.2 廃棄物排出量の 削減	1) 一般廃棄物 のリサイクル 及び削減	タイヤの空気圧の適正維持
		エコカーの導入
		裏紙使用、使用済封筒の活用
		ごみの分別
	2) 産業廃棄物 の抑制及び リサイクル	現場での廃棄物の分別
		書類のペーパーレス化
		マニフェストによる適正処理
4.1.3 水使用量の削減	上水	線材くずのリサイクル
		現場からの撤去品のリサイクル
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		手洗い、洗い物時の節水
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す
4.1.5 教育・訓練		省エネ基準適合商品の購入
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用 及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進

*4.1.1はSDGs目標の13：気候変動に具体的な対策を 4.1.2はSDGs目標の

14：海の豊かさを守ろう 4.1.4はSDGs目標の12：つくる責任、使う責任 を表す

4.2 環境経営目標（3期分） 削減率は基準値(68期)から每期3%

項目			単位	基準値 2022年 (68期)	2023年 (69期)	2024年 (70期)	2025年 (71期)	
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	39,922	38,724	37,527	36,329	
		☆四日市		4,267	4,267	4,267	4,267	
		☆菱興		916	916	916	916	
		☆三河		895	895	895	895	
		合計		46,000	44,802	43,605	42,407	
				Kg-CO2	22,310.00	21,729.13	21,148.27	20,567.40
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	26,586.85	25,789.24	24,991.64	24,194.03	
		四日市		3,655.94	3,546.26	3,436.58	3,326.91	
		合計		30,242.79	29,335.51	28,428.22	27,520.94	
					Kg-CO2	70,163.27	68,058.37	65,953.48
車両台数			台	32	32	32	33	
二酸化炭素総排出量					92,473.27	89,787.51	87,101.75	84,415.98
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	536	520	503	487	
	資源ごみ			692	671	650	629	
	産廃	プラスチック	Kg	2,631	2,552	2,473	2,394	
		金属屑		287	278	270	261	
水 使用量	本社	☆上水	m ³	178.0	172.7	167.3	162.0	
	四日市			18.0	17.5	16.9	16.4	
	合計		m ³ /人数	4.36	4.22	4.09	3.96	
	社員数			人	46名	46名	46名	46名
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	100.2	103.2	106.2	109.2	

- ・電力(中部電力)の平成27年度(2015年)のCO₂排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ガソリンのCO₂排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・グリーン購入はNECのグリーン機器類の仕入高
- ・化学物質は使用していませんので設定していません
- ・☆の個所は、維持管理目標
- ・項目の()は原単位のための数値
- ・12頁の7. 環境活動計画における次年度からの取組参照
- ・68期は2021.12.1~2022.11.30、69期は2022.12.1~2023.11.30、70期は2023.12.1~2024.11.30、71期は2024.12.1~2025.11.30
- ・今回の対象期間は68期(2021.12.1~2022.11.30)の結果を新たな基準として目標設定をした。

4.3.1 環境経営計画の実績

項 目	具体的取組内容	評価	
4.1.1 二酸化炭素 排出量の削減	1) 電気使用量	照明の休憩時等不必要時の消灯	○
		PCの省電力設定、電源プランで稼働時間の短縮設定	○
		給湯器は、5月～10月 OFF、11月～4月は60℃設定	○
		電気ポット使用は11月～5月、保温温度80℃	○
		常時稼働エアコンのフィルタは3ヶ月に1度(3月・6月・9月・12月)清掃	△
		換気扇の適宜のON・OFF	×
		ブラインドやカーテンでの熱の調整	○
		クールビズ・ウォームビズの実施	○
	2) ガソリン 使用量	エンジンをかけたらずぐアクセルを踏まない(5秒で時速20kmに達するのが目安)	△
		急発進・急加速・空ぶかしの排除	○
		カーエアコンのこまめな調整	△
		減速、停止時は早めにアクセルオフ 時速50kmの場合は停止線から200m 時速60kmの場合は300m手前を目安	△
		タイヤの空気圧の適正維持	○
		エコカーの導入	○
4.1.2 廃棄物排出量の 削減	1) 一般廃棄物の リサイクル 及び削減	裏紙使用、使用済封筒の活用	○
		ごみの分別	△
		現場での廃棄物の分別	○
		書類のペーパーレス化	○
	2) 産業廃棄物の 抑制及びリ サイクル	マニフェストによる適正処理	○
		線材くずのリサイクル 現場からの撤去品のリサイクル	△
4.1.3 水使用量の削減	上水	手洗い、洗い物時の節水	○
		トイレの水洗レバーは、常に「小」側に倒す	○
4.1.4 グリーン購入及び販売の推進		省エネ基準適合商品の購入	△
		コピー用紙、名刺等環境に配慮した紙の購入、使用及び環境に配慮した物品、製品の購入の推進	×
4.1.5 教育・訓練		毎期7月に実施	○

・評価は、具体的取組内容に対し取組程度を○：達成できた △：活動にばらつきがある
×：達成できなかったで表記した。

4.3.2 環境経営目標の実績

項目			単位	基準値	目標	実績	目標値と実績の増減%	評価		
				2019年 65期	2022年 68期					
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	42,976	39,108	39,922	2.1%	×		
		☆四日市		3,483	3,483	4,267	22.5%	—		
		☆菱興		1,312	1,312	916	-30.2%	—		
		☆名大		2,068	-	-	—	—		
		☆三河		1,172	1,172	895	-23.6%	—		
		合計		51,011	45,075	46,000	2.1%	×		
	合計			Kg-CO2	24,740.34	22,513.70	22,310.00	-0.9%	○	
	ガソリン使用量	本社	ℓ	30,654.68	27,895.76	26,586.85	-4.7%	○		
		四日市		3,090.40	2,812.26	3,655.94	30.0%	×		
		合計		33,745.08	30,708.02	30,242.79	-1.5%	○		
合計				Kg-CO2	78,288.59	71,242.61	70,163.27	-1.5%	○	
(車両台数)			台	32	33	32	—	—		
二酸化炭素総排出量			Kg-CO2	103,028.92	93,756.32	92,473.27	-1.4%	○		
廃棄物排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	682	620	536	-13.7%	○		
	資源ごみ			983	895	692	-22.7%	○		
	産廃	プラスチック	Kg	2,139	1,946	2,631	35.2%	×		
		金属屑		2,356	2,144	287	-86.6%	○		
水使用量	本社	上水	m ³	256.0	233.0	178.0	-23.6%	—		
	四日市			18.0	16.4	18.0	9.9%	—		
	合計		合計		m ³ /人数	5.96	5.42	4.36	-19.6%	—
			(社員数)		人	46名	46	45名	—	—
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	198.1	215.9	100.2	-53.6%	×		

- ・ 電力(中部電力)の平成 27 年度(2015 年)の CO₂ 排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ ガソリンの CO₂ 排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・ 仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入は NEC のグリーン機器類の仕入高
- ・ 評価は、目標に対し達成できた場合○、ばらつきがある場合△、達成できなかった場合×、—は評価せず(単位と別の表記の項目あるいはどちらか一方で評価済み)
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ ☆の個所は、維持管理目標
- ・ 項目の()は原単位のための数値
- ・ 65 期は 2018.12.1~2019.11.30、67 期は 2020.12.1~2021.11.30

4.4 環境負荷の状況（過去3期分）

項目			単位	2020年 66期	2021年 67期	2022年 68期	
二酸化炭素排出量	電力使用量	本社	KWh	42,281	42,033	39,922	
		四日市		3,924	4,071	4,267	
		菱興		1,347	1,272	916	
		名大		0	0	0	
		三河		1,168	1,169	895	
		合計		48,720	48,545	46,000	
				Kg-CO2	23,629.20	23,544.33	22,310.00
	ガソリン 使用量	本社	ℓ	29,287.15	28,082.70	26,586.85	
		四日市		2,156.26	3,386.54	3,655.94	
		合計		31,443.41	31,469.24	30,242.79	
			Kg-CO2	72,948.71	73,008.64	70,163.27	
(車両台数)			台	32	32	32	
二酸化炭素総排出量			Kg-CO2	96,577.91	96,552.96	92,473.27	
廃棄物 排出量	可燃・不燃ごみ		円/人数	484	749	536	
	資源ごみ			838	684	692	
	産廃	プラスチック	Kg	2,205	2,765	2,631	
		金属屑		2,295	777	287	
水 使用 量	本社	上水	m ³	255.0	187.0	178.0	
	四日市			18.0	18.0	18.0	
	合計			m ³ /人数	6.07	4.56	4.36
	(社員数)		人	45名	45	45	
グリーン購入及び販売の推進			仕入高	382.5	152.3	100.2	

- ・ 電力(中部電力)の平成27年度(2015年)のCO₂排出係数 0.485 kg-CO₂/kWh
- ・ ガソリンのCO₂排出係数 2.32 kg-CO₂/ℓ
- ・ 売上高、仕入高の単位は百万円
- ・ グリーン購入はNECの機器類の仕入高
- ・ 化学物質は使用していませんので設定していません
- ・ 66期は2019.12.1~2020.11.30、67期は2020.12.1~2021.11.30
68期は2021.12.1~2022.11.30

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

適応される法律と対応

法令等の名称		対象及び要求事項	遵守状況 確認	確 認	
1	消防法	防火 ・消防設置場所・火の始末、消灯、施錠	最終 退出者	○	
2	廃棄物処理法	保管場所、保管状態 廃棄物指定業者への引渡し ・マニフェストの処理、管理及び6月 末迄の知事への状況報告	事務局	○	
3	フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検		○	
4	リサイクル法	指定再資源化製品(小型二次電池) ・ニッケル、カドミウム電池 ・ニッケル水素電池・リチウムイオン電 池 ・小型シール鉛蓄電池		○	
5	家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化等 ・ユニット形エアコン ・ブラウン管式テレビ ・電気冷蔵冷凍庫 ・電気洗濯機		該 当 な し	
6	自動車リサイクル法	使用済自動車			
7	産業廃棄物等の適正な処理及 び資源化の促進に関する条例 (名古屋市)	廃棄物の減量及び適正処理		○	
8	市民の健康と安全を確保する 環境保全に関する条例	アイドリングストップ		○	
9	三重県環境保全に関する条例	アイドリングストップ		四日市(営)	○

* 法制度の最新状態維持のため上期(5月)、下期(11月)事務局により確認した場合、確認欄に○を表記、されなかった場合は×を表記
環境関連法規への違反、訴訟、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

環境に大きな負荷をかける二酸化炭素排出量は、全社の電力使用量において目標値 45,075kWh に対し実績 46,000kWh で 925kWh 約 2.1%上回った。

四日市は維持管理目標としているが、目標値より 22.5%も上回ってしまったが、前期 4,071kWh と比較すれば約 4.8%上回り、本社は約 5.3%下回っている。

売上が本社は前期より約 35.8%下回り、四日市は逆に約 41.4%上回り、売上が多少影響していると考えられる。

又、ガソリンは、合計目標値 30,708ℓに対し実績値 30,243ℓと 465ℓ削減できたが、四日市は 844ℓ(30%)大きく上回ったのも、売上が影響していると思われる。

廃棄物排出量は、ごみの分別（社内と現場の分別も含め）の精度が徐々に良くなり、可燃・不燃ごみと資源ごみ合わせ一人当たり 287円減、産廃の金属屑 1,857Kg 減った半面、産廃のプラスチックが 685Kg 増え前期と同様増加したが合計では目標値を下回った。産廃のプラスチックの増加傾向の因果関係は定かではない。

水の使用量は毎年ほぼ同じ量で推移しているが、今回は 53.4 m³目標値より下回った。

グリーン購入は、売上が大きく下がった結果、目標値より 53.6%と大きく下回った。来期も、維持管理目標とし、実施体制を組織変更に伴い変更する。

2023年2月22日

東洋通信工業株式会社

代表取締役 馬場 隆一

7. 環境経営計画における次年度からの取組

維持管理に活動を切替えつつあり、電力、ガソリン使用量は前年より削減傾向になっている。水の使用量は今期目標値を 21.5%下回ったが、維持管理の活動を来期も続ける。

ごみの分別の精度は良くなりつつあり、室内の温度設定もコンスタントに履行されている。マンネリにならないよう問題を定義しつつ組織の役割に各部署を割り当てて実施してゆき、毎期7月の教育訓練でも工夫して行ってゆく。

8. 社会貢献活動

毎月第一水曜日、地域清掃活動を実施、参加者が増えてきたので、社内の清掃にも振り分けた。

① 12月 8日 36名参加	⑦ 6月 8日 31名参加
② 1月 5日 34名参加	⑧ 7月 13日 34名参加
③ 2月 2日 34名参加	⑨ 8月 3日 34名参加
④ 3月 2日 31名参加	⑩ 9月 7日 34名参加
⑤ 4月 6日 39名参加	⑪ 10月 5日 33名参加
⑥ 5月 18日 32名参加	⑫ 11月 2日 36名参加